新課程科目「数学Ⅰ，数学A」の出題について

令和７年度（2025年度）大学入学共通テスト（以下，共通テスト）より，新教育課程履修者（令和４年４月に高校に入学し，新指導要領に基づく教育課程下で学んだ方）対象の試験が開始となり，それに伴い，数学においても，前課程の出題科目「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」が，それぞれ「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅱ，数学B，数学C」となりました。ここでは，独立行政法人大学入試センターにて公表されている情報をもとに，令和７年度共通テストの新課程科目「数学Ⅰ，数学A」における出題について説明いたします。なお，最新情報につきましては，令和８年度共通テストの試験情報ページ（https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r8/）を参照してください。

共通テスト　新課程科目「数学Ⅰ，数学A」　概要

○試験時間（配点）

70分（100点）

○出題範囲

数学Ⅰ：新学習指導要領 数学Ⅰ 全範囲

数学A：新学習指導要領 数学Aのうち「図形の性質」「場合の数と確率」

○問題構成および配点例

令和７年度大学入学共通テスト『数学Ⅰ，数学A』より

選択方法	問題番号		出題内容	配点
必答	第１問	〔1〕	数学Ⅰ「数と式」	10
		〔2〕	数学Ⅰ「図形と計量」	20
必答	第２問	〔1〕	数学Ⅰ「２次関数」	15
		〔2〕	数学Ⅰ「データの分析」	15
必答	第３問		数学A「図形の性質」	20
必答	第４問		数学A「場合の数と確率」	20

○前課程からの主な変更点

(1)　**全問必答となった**

前課程においては，第１問および第２問（数学Ⅰ）は必答問題，第３問・第４問・第５問（主に数学A）の３問より２問選択の形式でしたが，新課程においては第１問および第２問（数学Ⅰ），第３問および第４問（主に数学A）すべてが必答問題となりました。このことにより，前々課程（2006年度～2014年度）の大学入

試センター試験（以下，センター試験）において出題例がある

「図形と計量」（数学Ⅰ）と「図形の性質」（数学 A）の融合問題

など，数学Ⅰと数学 A の融合問題の出題の可能性があります。

(2) **数学 A「数学と人間の活動」(「整数の性質」) が出題範囲から外れた**

前課程の数学 A「整数の性質」の内容の一部を含む数学 A「数学と人間の活動」は，新課程科目「数学Ⅰ，数学 A」の出題範囲から外れました。したがって，前課程における共通テストおよびセンター試験，すなわち

・2021 年度～ 2024 年度 共通テスト「数学Ⅰ・数学 A」

・2015 年度～ 2020 年度 センター試験「数学Ⅰ・数学 A」

において出題された「整数の性質」に関する問題は，新課程科目「数学Ⅰ，数学 A」に向けた学習としては不要となります。

(3) **数学Ⅰ「データの分析」，数学 A「場合の数と確率」に新たな項目が追加された**

数学Ⅰ「データの分析」に「外れ値」「仮説検定の考え方」が追加されました。これらは，前課程における共通テスト (2021 年度～ 2024 年度) には出題がないため，その考え方を教科書等で振り返り，理解度を確認した上で，教科書傍用問題集，参考書等でその考え方をどのように利用し，何を導くことができるかを，問題を通じて実感しておくことが必要です。

また，数学 A「場合の数と確率」に「期待値」が追加されました。「期待値」に関しては，前々課程におけるセンター試験，すなわち

・2006 年度～ 2014 年度 センター試験「数学Ⅰ・数学 A」

において出題されていますので，期待値を求める場面の参考として見ておくとよいでしょう。

(参考) 前課程の問題構成および配点例

令和 6 年度 大学入学共通テスト『数学Ⅰ・数学 A』本試験より

選択方法	問題番号		出題内容	配点
必答	第 1 問	〔1〕	数学Ⅰ「数と式」	10
		〔2〕	数学Ⅰ「図形と計量」	20
必答	第 2 問	〔1〕	数学Ⅰ「2 次関数」	15
		〔2〕	数学Ⅰ「データの分析」	15
いずれか 2 問を選択	第 3 問		数学 A「場合の数と確率」	20
	第 4 問		数学 A「整数の性質」	20
	第 5 問		数学 A「図形の性質」	20